

Sow the Seeds of Love



慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 19回ロータリーのテーマ

RIテーマ

Weekly Report



クラブ会長テーマ

和楽、そして慈愛の種を播こう!

2003-1-15 第590回例会 NO. 13-26 2003-1-22 発行

◎司会 SAA委員会 高村 弘

◎点鐘 会長 小坂 一郎

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介 会長 小坂 一郎

- | | |
|-----------|---------|
| ・パストガバナー | 岩井 敏 様 |
| ・東京多摩RC | 由井 重光 様 |
| ・東京日野RC | 太田 俊彦 様 |
| ・東京東江戸川RC | 森本 弘 様 |
| ・東京新宿RC | 高濱 祐 様 |
| ・岡山西南RC | 椎原 裕二 様 |

◎会務報告 会長 小坂 一郎

- ・地区大会が4月20、21日に開催されます。当日はピチャイ・ラタクルRI会長がおみえになります。出来るだけ多数の参加をお願い致します。

◎幹事報告 幹事 平野 行廣

- ・今年度下半年年会費、特別会費の請求書をファイルに入れさせて頂きました。今月の31日までに指定口座にお振込み宜しくお願い致します。
- ・12月の平均出席率88.42%をガバナー事務所に報告しました。
- ・東京多摩RCより例会変更が来ております。
- ・NPO法人多摩市障害者福祉協会から「障害者美術作品展」協賛のお礼状と事業報告、写真が送られてきました。回覧します。
- ・会員名簿の一部訂正
 - ①由井 眞司会員：役職が副院長から院長にかわられました。
 - ②阿部 華歌会員：ご自宅の住所は事業所と同じに変更です。
- ・元米山奨学生の宋珉煥さんからクラブに年賀状を頂きました。回覧します。

◎次年度会務報告 会長エレクト 大松 誠二

- 細則により12月26日第一回被選理事会を開催。
- ・SAA委員長に根本理事を指名。
 - ・被選理事会を毎月第一水曜日の例会後、事務局にて開催とする。



【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 赤尾 恭雄

- ・会員総数 42名
- ・出席義務者数 41名 (出席免除者2名)
- ・出席者数 32名
- ・欠席者数 9名 (事前MU0名)
- ・出席率 78.05%
- ・欠席者：松垣 昭、伊澤ケイ子、北村 幸彦、小泉 博、宮村 宏、関岡 俊二、杉野志保子、高野 範城、由井 眞司
- ・補填MU：なし

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 玉木 直美

- 東京新宿RC 高濱 祐様
東京新宿RCの高濱です。本年も時折メールさせて頂きます。宜しくお願い致します。
- 小坂 一郎 岩井様ようこそ。本日の卓話宜しくお願いします。
- 平野 行廣 岩井パストガバナー、卓話楽しみにしてありました。宜しくお願いします。
- 津守 弘範 岩井様、卓話宜しく。楽しみにしてあります。
- 赤尾 恭雄 岩井パストガバナー、ご多忙中、卓話をお願いし、恐縮です。楽しみにしてあります。
- 大松 誠二 岩井パストガバナー、ようこそ。卓話ご苦労様です。
- 伊藤 英也 皆さん今年も宜しくお願い致します。前回欠席してしまいましたので。

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042 (372) 6463 FAX 042 (372) 6491
E-mail tamagr@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】小坂一郎 【幹事】平野行廣 【委員長】藤原正範 【副委員長】杉野志保子

【委員】阿部華歌・赤尾恭雄・藤本吉文・小林正・関岡俊二・吉沢洋景・正房正孝

藤本 吉文 お客様、ようこそ。
 高村 弘 皆様、大変遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。本年も宜しく。
 菊池 敏 お客様ようこそいらっしゃいました。今日は一段と寒いですネ。
 根本 泰守 トルコのファティよりハッピーニューイヤーと皆様によろしくと電話ありました。

本日の合計 ¥ 17,000 (累計 ¥ 658,250)

◎その他の報告

・親睦活動委員会 **委員長 海野 榮一**
 本日、花見親睦旅行につき委員会を開催します。
 ・クリスマス例会の報告 **親睦活動委員 宮本 誠**
 会場に立った二本の大きなツリーは玉木会員のご好意によるものです。BGMは杉田さんと吉沢会員によるものです。ホテルの小林支配人からは、ピアノ（調律は菊池会員）を只で貸して頂き、また口利きにより女性ボーカル（エムプー）が無料で出演下さいました。ビンゴの景品についても由井特別代表ご夫妻、海野委員長、伊澤さん、関岡さん、桧垣さん、北村さん、杉野さん、津守さんより大変ご協力を頂きました。出席も100%だったし、予算も1万ほど余りそうでもよかった。皆さんご協力頂き大変ありがとうございました。

◎卓話『ロータリー理解推進月間に際して。』

97-98 パストガバナー **岩井 敏 様**

赤尾パスト会長の要請により、喜んで参りました。この月間は、1947年1月27日に亡くなった偉大な先覚者ポール・ハリスを偲んで制定されました。



今日はR財団に関して、新しいプログラムとして昨年発足したロータリー・センター・プログラム（以後RCPと略す）に焦点を絞ってお話いたします。

RCPは50年に亘る国際親善奨学生制度の実績と成果を踏まえて新しく考えられたプログラムであります。1997年に国際親善奨学生制度創設50周年記念事業としてポール・ハリス・センターを設けて、財団の教育的プログラムを更に強化するという計画が挙がりました。この構想として生まれたのが現在のRCPであります。財団の構想はポールと並ぶ偉大な先覚者アーチ・クランプによるものです。ポールの逝去直後に発足した国際親善奨学生制度は現在まで3万4千人の若者に他国に於ける勉学の機会を与えました。国連の高等弁務官を務められた緒方貞子さんもこの一人としてジョージタウン大学で学ばれました。従来の国際親善奨学生制度は国際理解・親善を目的に多大な実績を挙げてきましたが、ロータリー

一の究極の使命は世界の平和を構築することであることから、RCPという世界平和の担い手を育てるプログラムの必要性が生まれて来た訳です。その手段として世界の大学の中から平和の担い手を育てるのに相応しい建学の理念と教育実績を有する大学を選び、7つのロータリー・センターが設けられることになりました。即ちアジアでは三鷹の国際基督教大学（ICU）、ヨーロッパではパリの政治学院、イギリスのブラッドフォード大学、アメリカではNC州の州立ノース・カロライナ大学と私立デューク大学、カリフォルニア大学パークレー校。南ではアルゼンチンのサルバドル大学、オーストラリアのクイーンズランド大学の8大学7センターが確定し、昨年より第一期生（10名X7センター）が選ばれました。日本からは第一期生2名、そして第二期生として4名が最終選考を通過しています。



ICUについてご説明をしておきます。正門を入りますと真っ直ぐな道路があります。マックリン通りといって両側に素晴らしい桜並木があります。ここは元々中島飛行機の三鷹研究所の用地（200万平米）でありました。現在のマックリン通りは戦闘機のテスト用の滑走路だったようです。もしそうならかつて戦場への道であった所が現在、平和への道に転じたと言うことで、世界平和の担い手を育てる大学に相応しい導入部を形成していると思われま。マックリンさんはバージニア州のリッチモンド教会の牧師さんで、戦後広島、長崎への原爆投下に対する謝罪の募金を募り、復興資金に充てようとしたがその後用途を変え、日米のキリスト教関係者の合議で設立されたICUへ平和への目的として米国の善意を寄贈され、立派な桜並木となりました。ですからマックリン通りは平和への道の象徴なのであります。更にロータリーとの関係をお話すると、最近偶然に判ったことですが東ヶ崎潔さん（元RI会長）がICUの初代理事長であり、創設の段階から携わっていたのです。RCPの生まれる50年以上前に、平和を建学の精神とする大学の構想を立てていた東ヶ崎さんの先見性には、改めて認識をさせられました。この件については「ロータリーの友」誌に掲載予定であります。

以上、RCPの触りの部分をお話させて頂きました。

◎点鐘

会長 小坂 一郎
 （今週の担当 吉沢 洋景）